

利根川だより9

カスリーン台風特集



カスリーン台風の爪痕 決壊箇所周辺の空中写真

Contents

- 特集:カスリーン台風
:利根川の洪水の歴史

第151号 120901発行

国土交通省 利根川上流河川事務所

TEL 0480-52-3952

URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>



当事務所では、利根川と縁の深い「静御前」を治水のイメージキャラクターとして位置付けています。

「起こりえない」と思っていたことでも起こりうる、それが自然災害です。

戦後、最大の水害！！カスリーン台風

1947年（昭和22年）9月8日、マリアナ東方1,000キロの海上で弱い低気圧が発生しました。これが後にその名を轟かせることになるカスリーン台風です。

9月13日、台風の影響により前線が刺激され、関東地方では本格的な雨となりました。

9月15日正午過ぎから各地で水害、土砂災害が発生しました。

9月16日午前0時15分、埼玉県川辺村（現・加須市）三国橋下流で、渡良瀬川右岸堤防が幅300mにわたり決壊！

その5分後の午前0時20分、埼玉県東村（現・加須市）新川通で、ついに利根川右岸堤防が幅350mにわたり決壊！

濁流は埼玉県のみならず東京都にまで達し、利根川水系における戦後最大の水害となりました。



葛飾区の浸水状況



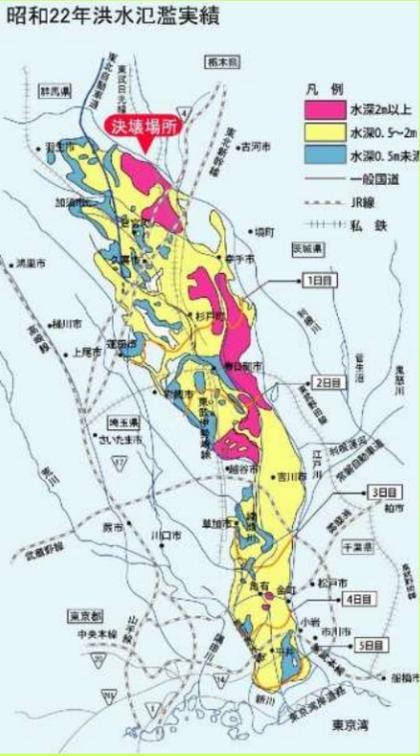
久喜市(旧栗橋町)沈んだ我が家を堤防上から見つめる人々



カスリーン台風の進路



利根川
東村(現加須市新川通)決壊口



昭和22年洪水氾濫実績

今、利根川が決壊すると、カスリーン台風を越える被害が発生します！

今、カスリーン台風と同規模の洪水が利根川を襲ったとすると、浸水による直接的な被害のみではなく、停電や通信機関、交通網の停止など日本の社会・経済の中心である首都圏における社会基盤システムのダウンによる影響も多く、首都圏に壊滅的な被害が予測されます。

国土交通省では、「安全・安心な暮らし」を守るために河川改修や維持管理等を進めていきますので、ご理解とご協力をお願い致します。

カスリーン台風による実績浸水深が、わかります。

まちなかの電柱にふと目を向けると、写真のような標識を目にすることがあります。これは、昭和22年のカスリーン台風による実績浸水深の水位とその高さをテープで表示しているものです。

この標識は、現在埼玉県内の4市町に103箇所設置されており、久喜市(旧鷺宮町・旧栗橋町を含む)、幸手市、杉戸町、加須市(旧大利根町)で見ることが出来ます。

見つけた方は、当時の水害の大きさを再確認していただき、日頃から洪水への意識を高めて頂ければと思います。



埼玉県久喜市栗橋北

利根川の洪水の歴史

利根川的主要洪水年表

| 年号 | 西暦 | 年号 | 西暦 | 年号 | 西暦 |
|--------|------|-------|------|-------|------|
| 天平宝字2年 | 758 | 弘化3年 | 1846 | 昭和24年 | 1949 |
| 建永元年 | 1206 | 明治18年 | 1885 | 昭和25年 | 1950 |
| 寛永元年 | 1624 | 明治23年 | 1890 | 昭和33年 | 1958 |
| 宝永元年 | 1704 | 明治27年 | 1894 | 昭和34年 | 1959 |
| 享保6年 | 1721 | 明治29年 | 1896 | 昭和41年 | 1966 |
| 享保13年 | 1728 | 明治31年 | 1898 | 昭和47年 | 1972 |
| 寛保2年 | 1742 | 明治43年 | 1910 | 昭和56年 | 1981 |
| 安永9年 | 1780 | 昭和10年 | 1935 | 昭和57年 | 1982 |
| 天明3年 | 1783 | 昭和13年 | 1938 | 平成10年 | 1998 |
| 天明6年 | 1786 | 昭和16年 | 1941 | 平成13年 | 2001 |
| 享和2年 | 1802 | 昭和22年 | 1947 | 平成19年 | 2007 |
| 弘化元年 | 1844 | 昭和23年 | 1948 | | |

で囲まれているのは東京まで被害が及んだ洪水

利根川水系の洪水の歴史で最も古い記録は、奈良時代の天平宝字2年(758)に発生した鬼怒川鎌庭付近のもので、“鬼怒川氾濫して二千餘頃の良い田を荒廢に帰せしめ”と伝えられています。※頃＝現在の約1ha
鎌倉時代にも大洪水の記録が残っていますが当時の記録が少なく、どの程度の洪水が起こっていたかは不明です。
江戸時代以降は記録が増え、江戸時代には173回、明治時代には38回の記録が残っています。

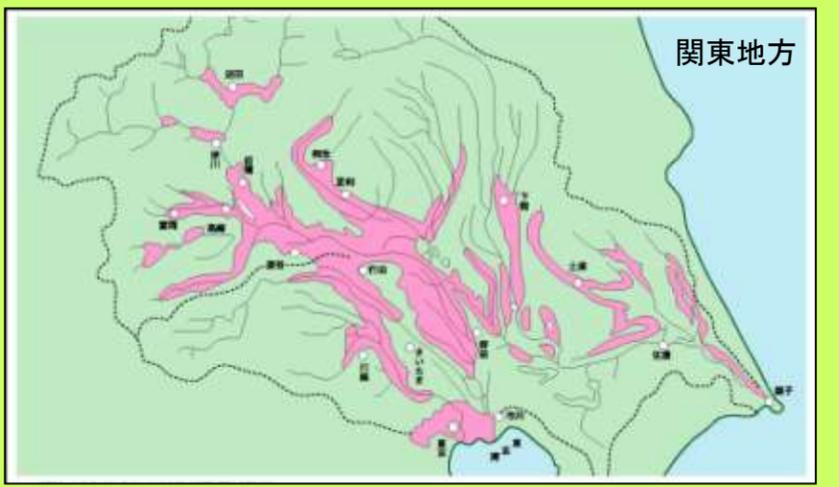
利根川の洪水の歴史の中でも、カスリーン台風の被害に匹敵若しくは上回ることも考えられるのが明治43年の洪水です。

この洪水この洪水は、8月5日頃から続いていた梅雨前線による雨と、11日に八丈島の北を通って房総半島沖を通過した台風と、さらに14日に沼津付近から甲府を通して群馬県西部を通過した台風の3者もたらした豪雨によって発生したもので、8月6日～10日まで5日間で500mmを超える雨量を観測しています。

当時の一般資産や農作物の詳しい資料は残っていませんが、埼玉県下の利根川水系だけで破堤138箇所到達する非常に大きな被害でした。

特に福川右岸の中条堤(現熊谷市、行田市)の破堤による氾濫流は、埼玉県を縦断し、東京都まで達しました。

明治43年洪水



明治43年洪水における洪水氾濫区域略図



亀井戸町屋上生活の惨状 (現在の江東区)



本所南割下水付近病院避難の惨状 陸上浸水五尺余 「五尺(約1.5m)を超える水位の中の避難」 (現在の墨田区)

写真出展：明治43年8月台風による 東京市内水害写真より

平成23年9月 台風15号

平成23年9月の台風15号では、群馬県や栃木県を中心に大雨が降り、渡良瀬川や思川の流域では流域平均でそれぞれ227.8mm、278mmの雨量を記録しました。

このため、思川の乙女水位観測所では、避難判断水位(注1)を超える程水位が上昇しました。また、渡良瀬遊水地(3調節池)では、東京ドーム約8個分(約1,000万m³)の洪水量を貯水しました。



第3越流堤の越流の様子

近年は、1時間に50mmや100mmを超える集中豪雨の発生回数が増えており、関東地方でも、床上・床下浸水等の被害が生じています。

台風などによる大雨も心配ですが、このように短時間に降る激しい雨による被害も年々増えているため注意が必要です。

(注1: 避難の必要も含めて氾濫に対する警戒を要する水位)

利根川上流河川事務所からのお知らせ

9月16日は「治水の日」

利根川上流河川事務所では、カスリーン台風の甚大な災害の教訓を踏まえ、その記憶を後世に語り継ぐとともに、犠牲者のご冥福を祈り、利根川の治水事業の重要性を広く理解して頂くことを目的として、平成4年度から利根川の堤防が決壊した日である9月16日を「治水の日」と制定し、以来、毎年この時期に「治水の日」式典を開催しています。今年も下記のとおり「治水の日」式典を行います。



第19回「治水の日」継承式典
(平成23年9月16日)

「治水の日」慰霊式典

日時：平成24年9月14日(金) 9:30~10:00

場所：加須市 新川通河川防災ステーション

「治水の日」継承式典

日時：平成24年9月14日(金) 10:30~11:50

場所：加須市 童謡のふる里おとねアスタホール

誌面についての率直な意見・感想をお待ちしています。
郵便・FAX・ホームページ・メールにて下記までお願いします。

利根川上流河川事務所

〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北二丁目19番1号
TEL 0480-52-3952 FAX 0480-52-3964
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>
E-mail infotonejo@ktr.mlit.go.jp

利根川に関する
雨量・水位の情報はこちら

■利根川上流河川事務所HP
<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

■携帯サイト
<http://k.tonejo.go.jp/>

